

問1 首都パリでの夏季大会に加え、アルプス山脈に近いシャモニー、グルノーブル、アルペールビルなどで冬季大会を開催してきた歴史を持つフランスは、人権概念の発展において重要な役割を果たしました。この人権の歴史的な変遷に関する説明として正しいものはどれですか。 (2025年 京都府公立入試 類似)

1. 当初は個人の経済活動を制限して平等を目指す「社会権」が重視されたが、近代化が進むにつれて国家の介入を一切排除する「自由権」へと権利の重点が移行した。
2. フランス革命期には「社会権」の考え方が主流であったが、ナポレオンの独裁によってその権利は否定され、20世紀になってようやく「平等権」として復活した。
3. 18世紀から19世紀にかけては国家からの干渉を制限する「自由権」が中心であったが、20世紀に入ると国家に対して人間らしい生活の保障を求める「社会権」が認められるようになった。
4. ナポレオンが皇帝に即位した当初から、個人の自由を守る「自由権」と、国家に生活保障を求める「社会権」は等しく重要な権利として憲法で保障されていた。

問2 明治政府が1872年から1879年にかけて行った、琉球王国を日本の一つの地方行政単位として組み込んでいく一連の措置に関する記述として、正しいものはどれですか。組織名の変遷に注目して選びなさい。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)

1. まず沖縄藩を設置して政府の管轄とし、その後に県庁を置いて沖縄県とした
2. まず沖縄県を設置して近代化を進め、その後に自治を認めて琉球藩とした
3. まず琉球藩を設置して国王を藩王とし、その後に藩を廃止して沖縄県を置いた
4. まず琉球王国を廃止して沖縄藩を設置し、最終的に鹿児島県に編入した

問3 明治政府が地租改正において、税の基準を「収穫量」から「地価」へ、納入方法を「米」から「現金」へと変更した最大の理由は何ですか。 (2017年 愛知県公立入試 類似)

1. 豊作や不作などの天候に左右されず、政府が安定した収入を得られるようにするため。
2. 現金の流通を抑えることで、インフレーションを防止し物価を安定させるため。
3. 江戸時代の徴税制度をそのまま引き継ぐことで、農村の混乱を避けるため。
4. 農民の税負担を大幅に減らし、自由な経済活動を促進するため。

問4 明治政府が地租改正において、納税の方法を従来の「米による物納」から「現金による金納」へと改めた主な理由として最も適切なものはどれか。 (2020年 大分県公立入試 類似)

1. 農村での貨幣経済の普及を抑制し、農民が自給自足の生活を維持できるようにするため。
2. 豊作や不作、あるいは米価の変動に左右されず、政府が安定した税収を確保できるようにするため。
3. 地主の権限を弱め、すべての農民に平等な納税の義務を課すことで江戸時代の身分制を完全に打破するため。
4. 政府が米を直接管理することで、海外への輸出を独占し貿易赤字を解消するため。

問5 1871年に実施された地方行政制度の改革において、明治政府が中央集権体制を強固にするために、旧藩主に代わって中央から各県へと派遣した役職を何といますか。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)

1. 将軍
2. 藩主
3. 県令
4. 守護

問6 明治初期、福沢諭吉などの思想家たちが、欧米の近代的な考え方を日本に紹介し、古い習慣を改めて合理的な社会を作ろうとした動きについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)

1. 学問を通じて個人の自立を促し、欧米の思想を広めようとする啓蒙思想が流行した。
2. 大衆の政治参加を目指し、吉野作造が民主主義を提唱して普通選挙の実現を訴えた。
3. 武士の特権を守るため、欧米の文化を拒絶して日本の伝統的な生活様式を重視した。
4. 天皇中心の政治を確立するため、仏教を排除して神道を国教とする政策を推進した。

問7 明治政府が実施した地租改正の仕組みについて述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 秋田県公立入試 類似)

1. 土地の所有者が、収穫高を基準として算出された金額を、物価の変動に合わせて現金で納める。
2. 土地の耕作者が、地価の3%に相当する額を、政府の指示に従って米または現金で選択して納める。
3. 土地の耕作者が、その年の収穫高の3%を、地券の交付を受けた後に米で納める。
4. 土地の所有者が、その土地の価格(地価)の3%を、豊凶に関わらず現金で納める。

問8 幕末から明治時代にかけて、欧米諸国の近代思想を日本に紹介した啓蒙思想家で、『学問のすゝめ』を著して個人の自立と実学の重要性を説いた人物は誰ですか。 (2017年 群馬県公立入試 類似)

1. 福沢諭吉
2. 中江兆民
3. 板垣退助
4. 吉田松陰

問9 明治新政府が発表した基本方針の第一条には「広く会議を興し、万機公論に決すべし」という一節があります。この内容が目指した方向性として、最も適切な説明はどれか。 (2016年 岡山県公立入試 類似)

1. 話し合いの場を設けて、人々の意見を尊重しながら政治を行うこと
2. 一部の有力な藩だけで権力を独占し、政治を秘密裏に進めること
3. 江戸幕府の仕組みをそのまま引き継ぎ、将軍が引き続き政治を行うこと
4. 外国との交渉を一切断ち切り、攘夷を徹底して実行すること

問10 明治政府が欧米列強に対抗し、日本の自立と近代化を図るために掲げた、経済を発展させて国を豊かにし、それによって軍隊の強化を目指した基本政策を何と呼ぶか。 (2017年 富山県公立入試 類似)

1. 版籍奉還
2. 富国強兵
3. 文明開化
4. 大政奉還

問11 明治政府が「学制」の公布や「徴兵令」の布告といった大規模な改革を短期間のうちに断行した背景にある、当時の政府の基本的な方針として最も適切なものはどれですか。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)

1. 地方の農村の自治を尊重し、重い税負担を軽減することで国民の支持を得るため。
2. 欧米列強に対抗できる経済力と軍事力を持つ「富国強兵」を目指したため。
3. 江戸時代の身分制度を維持し、士族の特権を守ることで社会の安定を図るため。
4. 外国との交易を制限し、日本独自の伝統文化を保護することを最優先したため。

問12 明治政府が、都市部においてガス灯の設置や洋風建築の導入といった「文明開化」を積極的に後押しした政治的な背景として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 愛媛県公立入試 類似)

1. 日本独自の「和魂洋才」という精神を世界に広め、アジアのリーダーとしての地位を確立するため。
2. 都市部と農村部の経済格差を解消し、日本全体の生活水準を一律に向上させるため。
3. 江戸時代の伝統文化を完全に否定することで、幕府の権威を民衆の記憶から消し去るため。
4. 日本が近代化された国であることを欧米諸国に示し、不平等条約の改正を有利に進めるため。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 18世紀から19世紀にかけては国家からの干渉を制限する「自由権」が中心であったが、20世紀に入ると国家に対して人間らしい生活の保障を求める「社会権」が認められるようになった。	近代初期の人権は、絶対王政による不当な拘束や抑圧を排除することを目的とした「自由権（国家からの自由）」が中心でした。しかし、産業革命後の社会問題（貧困や労働環境の悪化）を背景に、20世紀に入ると、ドイツのワイマール憲法などで「社会権（国家による自由）」という、国家が国民の生活を保障するべきであるという考え方が確立されました。ナポレオンの時代にはまだ社会権の概念は定着していませんでした。
問2	答え 3 まず琉球藩を設置して国王を藩王とし、その後には藩を廃止して沖縄県を置いた	明治政府は中央集権国家の確立と国境の画定を急いでいました。1872年に琉球王国を琉球藩とし、国王の尚泰を藩王とすることで日本政府の支配下にあることを示しました。さらに1879年、警察や軍隊の力を背景に琉球藩を廃止して沖縄県を設置し、完全に日本の地方行政組織に組み込みました。この一連の政治的措置を「琉球処分」と呼びます。
問3	答え 1 豊作や不作などの天候に左右されず、政府が安定した収入を得られるようにするため。	江戸時代の年貢は収穫量に応じて変動したため、政府の収入が天候に左右されて不安定でした。地租改正では、土地の価値である地価を固定し、それを基準に現金で納めさせることで、政府はあらかじめ決まった額の税収を確実に得ることができるようになりました。
問4	答え 2 豊作や不作、あるいは米価の変動に左右されず、政府が安定した税収を確保できるようにするため。	それまでの収穫高に応じた米による納税では、天候による不作や、市場における米の価格変動によって、政府の毎年の収入が不安定になるという欠点がありました。土地の価格（地価）を基準に固定された金額を現金で納めさせることで、政府は景気や天候に左右されない安定した財政基盤を確立し、近代化政策を進めるための資金を得ようとしていました。
問5	答え 3 県令	廃藩置県によって、それまで土地や人民を支配していた旧藩主（知藩事）は東京へ移住させられました。代わって中央政府から派遣された官吏は「県令（現在の知事にあたる役職）」と呼ばれ、政府の方針に従って各県の行政を担いました。これにより、地方の支配権が完全に中央政府の手に握られることとなりました。
問6	答え 1 学問を通じて個人の自立を促し、欧米の思想を広めようとする啓蒙思想が流行した。	福沢諭吉は明六社などの活動を通じ、西洋の自由や平等の考え方を日本に広める啓蒙思想の中心的な役割を担いました。吉野作造の民本主義は大正時代の動きであり、時代背景が異なります。福沢は実学（生活に役立つ学問）を重視し、それによって国民一人ひとりが独立することを求めました。
問7	答え 4 土地の所有者が、その土地の価格（地価）の3%を、豊凶に関わらず現金で納める。	明治政府は近代国家としての財政を安定させるため、1873年から地租改正を実施しました。それまでの「収穫高に応じた米での納付（年貢）」から、「地価を基準とした現金での納付（地租）」へと大きく転換しました。この際、政府は土地の所有者に地券を発行して所有権を認めるとともに、納税の義務を耕作者ではなく土地の所有者に課しました。
問8	答え 1 福沢諭吉	封建的な身分制度を批判し、一人ひとりが学問に励んで自立することが国家の独立につながると説きました。慶應義塾の創設者としても知られ、当時の日本に合理的な西洋の考え方を広める大きな役割を果たしました。
問9	答え 1 話し合いの場を設けて、人々の意見を尊重しながら政治を行うこと	「公論（世論）」に基づき政治を行うことを宣言することで、倒幕に協力した諸藩の不満を抑え、国民の力を結集させて近代的な国家をつくらうとする意図がありました。この考え方は、のちの自由民権運動において「国会を開設せよ」という主張の根拠としても引用されることになります。
問10	答え 2 富国強兵	明治政府は、欧米の先進国に追いつき、日本の独立を維持するために、経済力と軍事力を同時に高める必要があると考えました。この方針を実現するために、官営模範工場の設立などの「殖産興業」や、国民に兵役を課す「徴兵令」などが実施されました。
問11	答え 2 欧米列強に対抗できる経済力と軍事力を持つ「富国強兵」を目指したため。	明治維新後、政府は欧米列強による植民地化を防ぎ、対等な立場を築くために「富国強兵」を掲げました。この目標を達成するためには、国民全体の知識水準を向上させる教育（学制）や、身分を問わず組織された近代的な軍隊（徴兵令）が必要不可欠であると考えられ、急速な社会制度の改革が進められました。
問12	答え 4 日本が近代化された国であることを欧米諸国に示し、不平等条約の改正を有利に進めるため。	当時の日本にとって、幕末に結ばされた不平等条約の改正は国家の悲願でした。そのためには、日本が法制度だけでなく社会生活においても欧米並みの「文明」を備えた近代国家であることを対外的に証明する必要がありました。このように、生活様式の変化は単なる流行ではなく、外交上の目的とも深く結びついていました。